

提供日 2022/4/5
タイトル 細川光洋国際関係学部教授が前川佐美雄賞を受賞
担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学
国際関係学部 教授 細川光洋
発信担当者 054-264-5342



静岡県立大学記者提供資料

国際関係学部 細川光洋教授の著書『吉井勇の旅靴』が 第 20 回前川佐美雄賞を受賞

本学国際関係学部の細川光洋教授が 2021 年 11 月に短歌研究社から刊行した評伝研究『吉井勇の旅靴 ―昭和初年の歌行脚ノート』により、ながらみ書房の主催する、**第 20 回前川佐美雄賞（短歌文学賞）**を受賞しましたので、同書房のプレスリリース（別紙）を併せて送信します。

記

1 前川佐美雄賞

当賞は歌人・前川佐美雄の生誕100周年に合わせて2003年に創設。前年一年間に刊行されたスリングで優れた歌集・歌書が主な対象。他にユニークと思われる短歌関係の辞典、雑誌の追悼号、特集、企画など広い範囲にも視野をひろげ、〈無差別級〉の短歌文学賞を標榜する。今回で第20回となり、歴代の受賞者には、馬場あき子、栗木京子、小島ゆかりらがいる。主催は、(有)ながらみ書房 03-3234-2926（代表 及川隆彦）
選考委員は、佐佐木幸綱・三枝昂之・俵万智・佐々木幹郎・加藤治郎の五氏。歌誌「短歌往来」6月号に賞の発表、作品紹介、選評が掲載される予定。

2 『吉井勇の旅靴 ―昭和初年の歌行脚ノート』（短歌研究社）

いのち短し、恋せよ、少女（「ゴンドラの唄」）で一世を風靡した若き伯爵歌人・吉井勇。その壮年期には社交界を巻き込んだ一大スキャンダル「不良華族事件」からはじまる激動があった。はじめて明かされる長い流離と歌行脚の日々。多くの資料によって晩年の円熟した境地に至るまでを丹念に追う。

「吉井勇研究の第一人者の待望の書」（伊藤一彦の帯文）

四六判ハードカバー/428頁 定価 5,940円（本体 5,400円）

ISBN 978-4-86272-633-9

<https://tankakenkyu.shop-pro.jp/?pid=165202158>

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 教授 細川光洋

電話/FAX 054-264-5342